

## 2023年度 事業実施報告

一般社団法人日本中小型造船工業会

日本中小型造船工業会は、日本財団より助成金の交付を受け、下記事業を実施しています。

### 1. 進水式・造船工場見学会・海事関連イベント等

次世代を担う子ども達に造船業を通して、ものづくりの素晴らしさを知ってもらうため、2005年から「進水式や造船所の見学会（通年事業）」を行っています。

また、毎年、海の日を中心に「日本財団 海と日本PROJECT」の一環として「この地球で一番大きな工業製品「船」を見に行こう!!」をテーマに、子供たちや地域住民の方々に楽しみながら海事産業を理解してもらうため、造船所構内での祭イベントや体験乗船会、各種見学会を実施しています。（協賛：国土交通省）。

見学会だけでなく、出前授業や工作講座もあわせて行っており、最近では小中学校だけでなく高校での実施も増えてきています。これら日本中小型造船工業会が実施する各種見学会・講座等への参加をきっかけに造船を学べる学校へ進学した生徒や造船所に入社した学生も出てきています。

（2023年度の実績回数、参加人数等は以下のとおり）。

2023年度の実績	進水式・造船所見学会事業	48回	3,532名	60校
	海と日本PROJECT	25回	7,103名	



### 2. 海事産業ものづくり体験講座の実施

2010年からは、小・中学校の総合学習等の時間を10～20コマ活用して、造船業を中心に海事産業全般のキャリア教育を行っており、本講座を受講したことをきっかけに、工業系高校の造船コースや商船高等専門学校に進み、造船業、あるいは船員の道を目指す学生も出てきています。

#### 講座の趣旨

- ・ 船に関する仕事に就く方から話を聞き、将来の進路選択について考える機会を与える
- ・ 地域の基幹産業である造船について知り、地場産業への理解を深める
- ・ 地元企業や教育機関（造船所、船用機器メーカー、工業高校、地方自治体等）と連携し、造船業や地域で活躍する人材を育成する
- ・ 実験講座や造船所見学、体験乗船等を通じ、ものづくりの楽しさや魅力を伝える
- ・ どの講座も学校で習う教科と結びつけ、仕事や実社会での必要性を認識させる

#### 令和5年度実施状況（10校 / 741名）※印を付した学校は講座内で工業高校見学を実施

広島大学付属三原小学校	5年生	63名	※ 下関市立長成中学校	1年生	84名
呉市立仁方中学校	1年生	50名	※ 須崎市立多ノ郷小学校	5年生	54名
呉市立東畑中学校	2年生	64名	※ 須崎市立須崎中学校	2年生	41名
呉市立郷原中学校	1年生	52名	宇和島市城北中学校	2年生	74名
※ 今治市立朝倉中学校	2年生	36名	佐伯市立鶴谷中学校	1年生	172名

（今治地域地場産業振興センター共催）

- ・ 船を造ること、外国との貿易を行うことが地元産業を発展させるために役立っていると感じた。
- ・ 日本は何が不足しているのか、食料とエネルギーを外国に頼り、貿易で船が使われていることを学びました。
- ・ 暮らしに船が大きく関わっていることがわかった。
- ・ 数学や理科など私達が習っている勉強もこのように（船の設計などで）使うと考えると、今のうちに勉強しないといけないと思いました。
- ・ 仕事内容を知ることも重要と思ったが、その仕事に就くまでにどのような学校に行き、どのような資格を取るかが大切だと思った。
- ・ 女の人も働けると聞いたので、私も作業着を着てバリバリ働いてみたいと思った。
- ・ 釣りが好きで船も好きだから、もう一度、夢を考えてみようと思った。
- ・ 工業高校の生徒、その中でも造船を勉強している高校生は、全国でも少ないと聞いて自分もやってみようと思った。



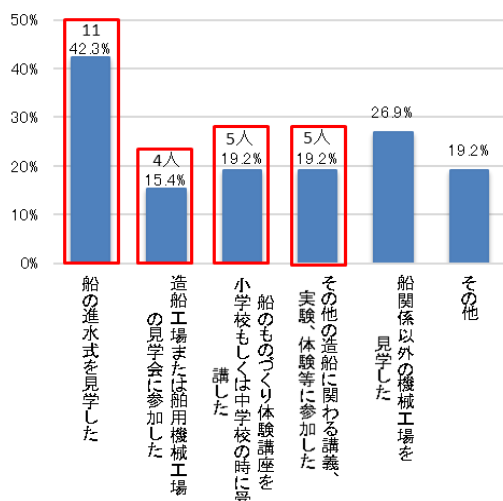
### 3. 高校において機械・造船科（コース）へ進学した生徒へのアンケート結果

機械・造船を学べる学科を有する高校は、現在全国に5校（今治、多度津、須崎、下関、長崎）所在しており、日本中小型造船工業会はこれら高校のほぼ全てと連携を取りながら上記1.及び2.の事業を実施しています。機械・造船科（コース）に入学した高校生を対象に、同学科への進学理由やそのきっかけについてアンケートを行ったところ、下記グラフのとおり、当工業会が実施した「進水式見学会」、「造船船用工場見学会」、「海事産業ものづくり体験講座」、「その他出前講座等」への参加を進路選択の理由として挙げる回答が大半を占めており、本事業が工業高校への進学率向上の一助となっていることが伺える結果となりました。

また、造船学科（コース）を選択した生徒に限っては、どの高校も進学を除きほぼ100%が造船所、もしくは関連産業に就職しています。

#### 機械・造船科（コース）を選択したきっかけについてのアンケート結果

S 高校 1 年生（37名中25人）



I 高校 1 年生（47名中40人）

